《板書例》

■伍子胥は伯嚭に対して、どのような思いを持っていたか、グループで話し合いながら、本文に即してまとめてみよう。（学習のポイント2）

▼話し合うポイント▲

①リード文を参考に、伍子胥と伯嚭のそれぞれの立場・境遇を読み取る。
②披離の助言の意味を読み取る。
③伍子胥の伯嚭に対する評価を読み取る。

全段落

《①伍子胥の立場・境遇は？　伯嚭の立場・境遇は？》
・伯嚭の立場・境遇
　＝リード文「楚に父を殺され…来たのである。」
・伍子胥の立場・境遇
　＝「子胥は伯嚭が…志を同じくしている」（P一四四・上9）
　←
立場・境遇を同じくすること（学習のポイント1(1)）

《②披離の助言の意味は？》
・披離の助言＝「ごもっともです。…伯嚭は警戒すべき人物のように、拙者には見えます。」…殺を嗜む性質がありま す。」（P一四五・上7～12）
《③伍子胥の伯嚭に対する評価は？》
・子胥は承服せず、益々親しみ、闔廬にとりなして、重く用いさせた（P一四五・上14～15）
　←
①②③をもとに、伍子胥は伯嚭に対する思いをグループで話し合いながらまとめてみよう。

板書
A班……
B班……
C班……

まとめ

伍子胥は伯嚭の楚を恨み復讐したいという気持ちに**共感**していた。（伍子胥は伯嚭の志に**共感**した。）**共感**できたのは、伍子胥と伯嚭が、楚に親族を殺され、亡命したという同じ立場・境遇にあったからだと考えられる。